



第23回 アイム・ジャパン 作文コンクール

進歩賞

題名 『実習生の実務経験』

氏名	ハッタラポソ ウッタゴーン
出身国	タイ
会社名	有限会社 クオール
職種	溶接
担当支局	東京支局
入国日	2020年12月7日 1年目

## 実習生の実務経験

パッタラポン ウッタイゴーン

私の会社は大きな製糖工場で機械や配管のメンテナンス作業をしています。また、外部企業の機械や配管のメンテナンスも行っています。18人従業員がいます。タイ人は3人で、後は日本人です。皆が真面目でフレンドリーです。

会社にはタイ人の2人の先輩がいます。先輩は仕事と日本語が上手です。仕事が終わらない時には会社の人や先輩がいつも手伝ってくれます。

工場内には本館、新館、包装館、出荷倉庫、原糖倉庫、動力設備、排水処理設備などがあり、そして、この工場の近くには、いろいろな工場が多いです。砂糖の原料は大型船で世界中から工場の港に運ばれて来ます。砂糖の生産が完了した後、トラックで各地に運ばれて行きます。

工場内では機械をずっと動かしているの

1年に4回休糖工事をしています。休糖工事では配管、電気、機械などを修理しています。その間、応援の職人さんがたくさん来て働いています。

会社の作業には、設計、寸法測り、切断、溶接、ペンキの塗装があります。仕事をするのに道具をいっぱい使って、材料も種類が多いです。鉄とか、SUSとか、アルミニウムがあります。それに現場で仕事するのは狭い所と、高い所と、酸欠になる所もあるから始業前点検をしなければなりません。

毎朝、作業内容を報告するために、仕事を始める前に、朝礼をしています。そして安全のために、雨が降った場合は、長靴と合羽とゴム手袋を着用しています。夏場は、熱中症にならないように、空調服を着て、多くの水分と塩分を摂取したほうがいいです。高所で作業する場合は、安全帯ベルトを使用して、手袋やヘルメットを装着して、それに化学薬品、錆、ほこりが目に入る危険を防ぐために

ゴーグルと防塵マスクを着用しています。

作業の後に、仕事が終わった事を確認して  
作業した場所を掃除して、道具を整理して  
ゴミを捨てます。仕事が終わってから、皆に  
「お疲れさまでした」と言っています。それは  
いい習慣です。